

膵臓や胆管の手術を受ける患者の術後回復に向けた多職種協働チームの有効性に関する臨床データの研究利用についてのお願い

研究の概要・背景

膵臓または胆管の手術は身体への大きなダメージを与えるため、手術前から栄養状態をより良い状態に整えることや、リハビリを継続することが術後の回復にとっても重要になります。これまで手術後早期から、看護師・栄養管理士・理学療法士などがそれぞれ関わっていました。今回の研究では多職種協働チームが手術前より関わり、包括的に支援させていただくことでの有効性を検証したいと考えています。

研究での結果は院内研究発表会や関連学会への発表、ないしは学術雑誌へ投稿いたします。

対象者・期間

対象者は、2019年1月～2019年6月に当院で膵臓または胆管の手術を受けられる方です。その際は、研究に関するご協力について文書を用いて説明させていただきます。

また、これまでそれぞれの職種が関わらせていただいていた2015年5月～2016年3月までに当院で膵臓または胆管の手術を受けられた方に関しては、下記のようにデータの活用をさせていただきたいと考えております。

試料・情報の利用目的・方法(他機関への提供を含む)

患者さんのカルテから抽出したデータ（病歴、入院前後の経過、血液検査、体重の推移、使用薬剤）を使用します。データは匿名化してセキュリティのかかった（パスワード付の）ファイルにまとめ解析を行います。

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院 地域連携・患者サポートセンター内がん相談支援センター
担当：白井 直美

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)